

11 地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的に実施している。

地域支援事業については、平成 26 年の介護保険法改正により、内容の見直しが行われ、介護予防事業が介護予防・日常生活支援総合事業に再編された。

介護予防・日常生活支援総合事業は、①介護予防訪問介護等を移行し、要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・生活支援サービス事業（介護保険法第 115 条の 45 第 1 項第 1 号）と、②第 1 号被保険者に対して体操教室等の介護予防を行う一般介護予防事業（介護保険法第 115 条の 45 第 1 項第 2 号）から構成され、文京区においては、平成 28 年 10 月 1 日から事業を開始した。

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 総合サービス事業（文京区における介護予防・生活支援サービス事業の名称）

総合サービス事業は、要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、①調理、洗濯、掃除等の日常生活に支障をきたしている場合に、自立した生活を送ることを目指す支援を行う「訪問型サービス」、②食事、入浴、その他必要な日常生活上の支援や機能訓練等を日帰りで提供し、心身機能の維持向上を図る「通所型サービス」、③利用者の個別性に応じた包括的なプログラムを短期間に集中して行うことにより、生活機能の維持又は向上を目指す「短期集中予防サービス」、④これらのサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントを行う「介護予防ケアマネジメント」等により構成される。

①訪問型・通所型サービス

ア サービス提供事業所指定の状況

訪問型サービス、通所型サービスを提供する事業所数は次のとおりである。

(各年度末現在 単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問型サービス	44	46	45	44	42
通所型サービス	78	68	65	65	63

※休止中の事業所を除く。

イ サービス利用状況

要支援者等の心身の状況や置かれている環境等の状況に応じ、総合サービス事業における訪問型及び通所型サービスその他の適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、必要な支援を行っている。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問型サービス	人数	4,728人	4,850人	4,509人	4,546人	4,420人
	回数	24,977回	25,624回	23,607回	24,084回	23,601回
	給付費	79,951,932円	83,044,443円	77,482,891円	78,674,320円	76,408,004円
通所型サービス	人数	9,038人	9,136人	8,172人	7,448人	7,110人
	回数	49,159回	48,483回	43,546回	40,808回	38,060回
	給付費	233,213,369円	231,798,208円	194,969,625円	194,130,428円	184,309,125円
介護予防ケアマネジメント費	人数	8,695人	8,400人	6,596人	6,795人	6,499人
	回数	—	—	—	—	—
	給付費	44,457,318円	42,807,386円	33,256,897円	35,153,896円	33,798,671円
合計	人数	22,461人	22,386人	19,277人	18,789人	18,029人
	回数	74,136回	74,107回	67,153回	64,892回	61,661回
	給付費	357,622,619円	357,650,037円	305,709,413円	307,958,644円	294,515,800円

※総合サービス事業は、平成29年10月1日より予防給付から完全に移行した。

※他保険者で実施した総合事業分も含む。

※介護予防ケアマネジメント費は、短期集中予防サービス（介護予防事業）に係る介護予防ケアマネジメント費を含む。

② 短期集中予防サービス（プログラム事業）

基本チェックリストにより生活機能等の低下が見られる方に対し、要介護状態になることを予防するために実施している。

ア 事業内容

事業名	内容
複合型プログラム事業 ・まるごと元気！筋力アップ体操教室 ・まるごと元気！マシン運動教室	理学療法士等の指導により、筋力トレーニング、バランストレーニング、有酸素運動、ストレッチなどを実施する。併せて管理栄養士及び歯科衛生士の指導により、低栄養予防及び口腔機能維持向上を目的とした講義等を行い、生活機能の向上を目指す。
訪問型プログラム事業	介護予防ケアマネジメントを実施し、事業の必要があるとされた場合に、専門職が訪問して、自宅における運動指導と生活環境調整を行う。

イ 事業実績

事業名	参加者数				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
まるごと元気！筋力アップ体操教室	220人	179人	47人	137人	136人
まるごと元気！マシン運動教室	87人	70人	9人	17人	26人
訪問型プログラム事業	0人	0人	0人	0人	1人
計	307人	249人	56人	154人	163人

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減、中止回あり。

※令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減。

(2) 一般介護予防事業

①介護予防把握事業

平成 24 年度から平成 27 年度まで、介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者を対象に「健康質問調査票（基本チェックリスト）」を送付し、調査票から高齢者の生活機能を評価して、「プログラム事業（二次予防事業）対象者」を決定した。

平成 27 年度の、国の介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインにおいて、健康質問調査票は、必ずしも全件送付する位置づけではなくなったが、本区の 85 歳以上の要介護認定率の実績を踏まえ、平成 28 年度以降も健康質問調査票の送付による調査を継続し、介護予防の取組を促している。なお、調査票送付対象年齢以外の高齢者でも体力等が心配な場合は、高齢者あんしん相談センターで基本チェックリストを受けることが可能である。

基本チェックリストを受けた方には、その結果に応じて高齢者あんしん相談センターが介護予防ケアマネジメントを行い、適切な事業等に勧奨して、要介護状態になることを未然に防ぐための事業展開を図っている。

【健康質問調査票（基本チェックリスト）送付実績】

	調査票 発送者数	調査票 回答者数	調査票 有効回答者数	プログラム事業 対象者数	プログラム事業 参加者実人数
平成30年度	11,271 人	7,973 人	7,961 人	2,031 人	307 人
令和元年度	4,477 人		2,063 人	502 人	249 人
令和2年度	3,923 人		2,089 人	512 人	56 人
令和3年度	11,841 人		8,162 人	2,093 人	154 人
令和4年度	6,959 人		4,746 人	1,212 人	163 人

※対象者（介護認定を受けていない方で、当該年4月1日現在の年齢に基づき決定）

平成 30 年度・令和 3 年度：75 歳以上 84 歳以下の方

令和元・2 年度：75 歳以上 84 歳以下の方のうち、前年度までの調査に回答していない方

令和 4 年度：75 歳以上 85 歳以下の方のうち、奇数年齢の方

②介護予防普及啓発事業

高齢者が閉じこもりや要介護状態になることを予防するため、地域の身近な施設で各種教室を実施している。また、介護予防に関する知識とその重要性を理解してもらうため、講演会等を実施している。

ア 介護予防教室等

事業名	参加者数				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
文の京介護予防体操教室	39人	25人	20人	－	－
文の京介護予防体操地域会場	974人	972人	326人	632人	677人
文の京介護予防体操 (東京大学ふみのみやこ倶楽部)	11人	20人	－	－	15人
文の京介護予防体操 (筑波大学附属盲学校ふみのみやこ)	－	16人	－	－	－
ひざ痛予防教室	103人	33人	9人	26人	25人
腰痛予防教室	97人	62人	20人	23人	38人
転ばナイス教室	60人	57人	20人	80人	79人
転倒骨折予防教室 口腔機能向上教室	172人	150人	95人	90人	118人
尿失禁予防教室	71人	38人	16人	42人	54人
口腔機能向上教室 (保健サービスセンター)	81人	55人	－	17人	36人
脳の健康教室	217人	142人	－	健康脳トレ教室へ移行	
健康脳トレ教室	脳の健康教室から移行			76人	76人
健康マージャン教室	68人	65人	－	－	25人
脳力アップ教室	40人	脳活エクササイズ教室へ移行			
脳活エクササイズ教室	脳力アップ 教室から移行	57人	18人	44人	60人
健康音楽教室	146人	140人	－	68人	72人
若返りパワーアップ教室	61人	58人	20人	47人	59人
パワーアップマシン教室	59人	57人	38人	48人	53人
いきいき壱岐坂元気力アップ教室	40人	38人	7人	13人	40人
シニアのためのフィットネス教室	－	－	－	－	952人
計	2,239人	1,985人	589人	1,206人	2,379人

※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減、中止回あり。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減。

イ 介護予防講演会及び講座

	回次	テーマ	演題	参加者数	計
平成30年度	1	難聴対策	聞こえの悪さを放置してはいけません	171人	447人
	2	ロコモ予防	ロコモ対策 美しく立つ	104人	
	3	認知症予防	認知症にならないための八か条	172人	
令和元年度	1	睡眠	心地よい眠りで健康を	138人	296人
	2	フレイル全般	老年学者が考えた健康寿命の延ばし方	100人	
	3	オーラルフレイル	知っていますか？オーラルフレイル	58人	
令和2年度	1	フレイル全般	健康長寿と支え合いのまちづくり	48人	48人
令和3年度	1	フレイル全般	老年学者が考えた、コロナ禍におけるフレイル予防術	53人	95人
	2	フレイル全般	ウィズコロナ時代における健康維持の秘訣	42人	
令和4年度	1	認知症予防	認知症最前線 人生100年時代の予防とケア	97人	163人
	2	フレイル全般	健康長寿と幸福長寿のまちづくり フレイルに立ち向う	66人	

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減、中止回あり。

※令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員削減。

ウ その他の事業

事業名	参加者数				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護予防展	1,334人	中止	336人	436人	546人
介護予防出前講座	158人	93人	24人	73人	23人

※令和元年度介護予防展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。

※令和2年度及び令和3年度介護予防展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施。

③地域介護予防活動支援事業

ア 介護予防ボランティア指導者等養成事業

身近な地域において介護予防を推進するため、体操等の指導及び普及啓発を行う区民ボランティアを養成するとともに、高齢者等の社会参加の場の推進を図っている。

介護予防推進リーダー育成のための養成講座及びスキルアップ研修会等参加者数

事業名	参加者数				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
脳健康教室サポーター養成	13人	—	—	—	—
文の京介護予防体操推進リーダー養成	192人	194人	209人	73人	67人
転倒骨折予防ボランティア指導員養成	6人	6人	6人	10人	20人
計	211人	200人	215人	83人	87人

※脳健康教室サポーター養成は、欠員が生じた場合に実施。

イ 地域介護予防活動支援事業（通いの場）

介護予防のための体操等とともに、住民同士の助け合い・支え合う活動を推進するため、実施する団体に補助金を交付している。（社会福祉協議会事業）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
かよい～の数	26か所	28か所	26か所	26か所	28か所
開催回数	1,298回				
参加者数	16,072人				

2 包括的支援事業

(1) 高齢者あんしん相談センターの設置及び運営

高齢者あんしん相談センターは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上等、生活の安定のために必要な相談・支援を包括的かつ継続的に行う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的なサービスの調整や、地域ネットワークの構築・再生、また、地域住民の様々なニーズに応える高齢者福祉の拠点となることを目的としている。

① 高齢者あんしん相談センターの設置

(令和5年4月1日現在)

日常生活圏域	名称	所在地	運営法人※
富坂地域	高齢者あんしん相談センター富坂	白山5-16-3	社会福祉法人福音会
	高齢者あんしん相談センター富坂分室	小石川2-18-18	
大塚地域	高齢者あんしん相談センター大塚	大塚4-50-1	社会福祉法人洛和福祉会
	高齢者あんしん相談センター大塚分室	音羽1-15-12	
本富土地域	高齢者あんしん相談センター本富士	本郷2-40-11	医療法人社団龍岡会
	高齢者あんしん相談センター本富士分室	西片2-19-15	
駒込地域	高齢者あんしん相談センター駒込	千駄木5-19-2	社会福祉法人桜栄会
	高齢者あんしん相談センター駒込分室	本駒込2-28-10	

※高齢者あんしん相談センターの設置、運営は、上記運営法人に委託している。

②高齢者あんしん相談センターの運営

センター		富坂及び分室	大塚及び分室	本富士及び分室	駒込及び分室
高齢者人口		13,786 人	9,770 人	9,522 人	10,573 人
職員	社会福祉士	8 人	7 人	4 人	5 人
	保健師・看護師	5 人	5 人	6 人	7 人
	主任ケアマネ	3 人	2 人	2 人	2 人
	その他	0 人	1 人	1 人	1 人
職員数計		16 人	15 人	13 人	15 人

※令和5年4月1日現在の職員数

※高齢者人口は令和4年9月1日現在

窓口開設時間

	窓口開設時間
4センター (分室を除く。)	月曜～金曜：午前9時～午後7時
	土・日・休日：午前9時～午後5時30分（年末年始を含む。）
分室	月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（日・祝日・年末年始を除く。）

③主な業務内容

高齢者あんしん相談センターは、保健師（又は経験のある看護師）、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門資格を持った職員が、それぞれの専門知識を活かして連携チームをつくり、次の業務を行う。

ア 高齢者の総合相談支援、権利擁護

高齢者や介護する家族のための総合相談・支援、高齢者虐待の防止・早期発見などの権利擁護に関する相談・支援、認知症高齢者等を地域で見守り、声かけ等を行うネットワークの推進等を社会福祉士が中心となって行う。

イ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が介護保険のサービスを始めとする様々な介護サービスを適切に利用できるよう、地域のケアマネジャーからの日常相談に応ずるとともに、最新情報の提供や地域ケア会議等も活用し、ケアマネジャーに対する後方支援を主任ケアマネジャーが中心となって継続的に行う。

ウ 介護予防ケアマネジメント

総合サービス事業の対象者に対して、要介護状態等となることの予防又は要支援状態等の軽減若しくは悪化の防止と地域における自立した日常生活の支援のために、保健師（又は経験のある看護師）が中心となり、介護予防ケアマネジメントを実施する。なお、プログラム事業対象者に対しては、プログラム事業への参加を勧奨し、同意された方には、一人ひとりに合った効果的なサービスの利用が実現できるよう総合調整を行う。

エ その他

認知症高齢者の介護をする家族等に対して介護方法や各種サービスの情報提供等を行う「認知症介護教室」等の開催や熱中症対策事業、一体的に医療と介護サービスを受けられるよう医療と介護の連携を行う「医療連携相談業務」、介護保険の申請受付、区の高齢者福祉サービスの申請取次ぎ等を行う。

④ 令和4年度の主な実績

ア 総合相談業務

令和4年度に高齢者あんしん相談センターは、区内の高齢者等 9,414 人に対し延べ 39,973 件の相談・支援を行った。一人当たりの相談回数は、平均で約 4.3 回であった。

(ア) 相談実人数 (単位：人)

年度	富坂	分室	大塚	分室	本富士	分室	駒込	分室	計
平成30年度	2,075	1,290	1,534	1,034	1,449	1,031	1,488	1,082	10,983
令和元年度	1,913	1,135	1,592	1,132	1,263	944	1,746	999	10,724
令和2年度	1,697	1,907	1,900	946	1,065	673	1,833	668	10,689
令和3年度	1,690	1,377	1,218	1,169	1,041	692	1,408	884	9,479
令和4年度	1,526	1,245	1,157	1,144	1,203	633	1,516	990	9,414

※令和2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(イ) 総相談件数 (単位：件)

年度	富坂	分室	大塚	分室	本富士	分室	駒込	分室	計
平成30年度	6,100	2,794	5,840	4,902	5,032	4,678	5,258	3,270	37,874
令和元年度	6,718	2,673	7,225	4,965	4,582	4,466	5,619	3,038	39,286
令和2年度	6,791	4,903	8,335	4,740	5,445	3,795	5,707	2,351	42,067
令和3年度	7,258	3,450	5,284	5,456	5,027	3,743	4,291	2,674	37,183
令和4年度	7,357	4,278	5,435	4,660	6,467	4,391	3,715	3,670	39,973

※令和2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(ウ) 相談方法別相談件数 (令和4年度の内訳) (単位：件)

相談方法	富坂		大塚		本富士		駒込		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
電話	6,241	53.6%	5,178	51.3%	7,071	65.1%	2,792	37.8%	21,282	53.2%
訪問	3,193	27.4%	2,519	25.0%	1,982	18.3%	2,150	29.1%	9,844	24.6%
来所	1,627	14.0%	2,001	19.8%	1,466	13.5%	2,306	31.2%	7,400	18.5%
その他	574	5.0%	397	3.9%	339	3.1%	137	1.9%	1,447	3.6%
計	11,635	100.0%	10,095	100.0%	10,858	100.0%	7,385	100.0%	39,973	100.0%

※分室を含む。

(エ) 相談者内訳 (センター計)

(単位: 件)

相談者	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本人	17,821	18,762	20,742	17,253	17,276
親族	8,634	8,605	8,793	7,837	9,333
ケアマネジャー	3,532	3,677	3,383	3,553	3,655
サービス事業者	2,346	2,710	2,892	2,587	2,670
医療機関	1,799	1,839	2,065	1,942	2,104
行政 (区、社協等)	1,302	1,430	1,624	1,310	1,740
知人・友人・近隣・管理人等	987	899	1,028	819	1,063
民生委員・話し合い員等	565	407	447	400	390
不明 (匿名等)	888	957	1,093	1,482	1,742
計	37,874	39,286	42,067	37,183	39,973

※令和2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(オ) 相談内容

(単位: 件)

相談内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合相談	介護保険 (予防給付)	13,201	15,359	16,952	16,848	18,280
	介護保険 (介護給付)	9,682	10,399	9,926	10,247	12,227
	医療・保健	3,854	4,403	4,485	4,095	4,200
	認知症	3,216	3,555	3,253	2,943	3,200
	住宅改修・福祉用具	1,911	1,945	1,721	1,894	2,479
	区のサービス	1,204	1,169	1,727	1,211	1,371
	精神疾患	953	999	738	638	603
	民間サービス	555	513	502	546	542
	施設 (介護保険)	501	430	534	329	514
	経済問題	449	382	433	296	543
	住宅問題	478	406	453	325	273
	家庭問題	495	531	441	490	478
	家庭問題 (ひきこもり)				37	49
	施設 (民間施設)	331	326	275	303	319
	身体障害関係	58	77	95	97	111
	社会福祉協議会	93	95	151		
	施設 (ケアハウス・軽費)	6	9	9	11	6
	ハートフルからの情報提供				24	31
	状況確認	12,633	12,035	16,945	11,910	14,175
	権利擁護	虐待のおそれ・疑い	299	494	286	277
成年後見		232	366	289	244	295
虐待		79	52	32	63	23
消費者被害		22	74	59	33	48

(単位：件)

相談内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ケアマネ ジメント 支援	ケアマネ個別相談	79	74	69	42	36
	サービス担当者会議	55	56	53	29	19
介護予防 ケアマネ ジメント	事業参加勸奨	1,032	949	175	397	591
	総合サービス事業	4,135	3,440	1,531	1,499	1,238
	一次予防事業	31	30	29	67	40
	予防給付	127	104	83		
他機関と の連携	社会福祉協議会				39	35
	障害者基幹相談支援センター				4	2
	ひきこもり支援センター				0	1
	医療連携				106	224
その他		150	127	253	202	229
計		55,861	58,399	61,499	55,256	62,466

※相談内容が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため合計とは一致しない。

※令和3年度よりシステム改修があったため、項目の一部を変更。

※令和2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(カ) 相談対応

(単位：件)

相談対応	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
説明・助言・情報提供	24,638	25,520	24,676	22,892	23,910
状況報告・状況確認	15,426	17,006	18,723	16,813	19,950
本人・関係者との調整	7,676	8,444	8,578	8,389	9,082
申請取次・受付・調査	4,819	5,033	4,109	4,947	5,510
困難ケース対応	165	159	140	172	115
緊急時対応	72	91	75	80	81
カンファレンス開催	49	44	43	28	29
カンファレンス出席	82	66	46	56	60
苦情対応	34	26	11	22	24
障害者控除認定				2	1
その他（傾聴等）	138	122	708	311	88
計	53,099	56,511	57,109	53,712	58,850

※相談対応が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため合計とは一致しない。

※令和3年度よりシステム改修があったため、項目の一部を変更。

※令和2年度実績のみ、見守り相談窓口実績を含む。

(キ) 困難ケース対応

(単位：件)

対応内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診説得	8	3	3	9	1
サービス拒否	7	12	5	13	8
認知症等	48	57	62	71	33
身体清拭	4	5	1	0	2
受診・入所支援	64	48	47	49	43
食事支援	14	9	7	8	11
室内清掃	12	9	2	9	3
後見支援	12	16	13	13	14
計	169	159	140	172	115

(ク) 緊急対応

(単位：件)

対応内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
徘徊対応	5	2	1	3	4
虐待対応	7	5	11	6	13
救急搬送	31	36	36	26	18
安否確認	24	45	26	29	27
緊急呼出	2	3	1	5	2
ワクチン接種支援				3	2
緊急一時入所事業				8	15
計	69	91	75	80	81

(ケ) 実態把握調査

高齢者あんしん相談センターは、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等の実態の把握に努めている。高齢者が相談に来所した際、訪問や電話等、様々な手段により実態把握を行っている。

【実態把握調査実施状況】

(単位：件)

センター	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
富坂	1,684	1,369	1,398	1,598	1,847
大塚	1,598	1,354	1,400	1,236	1,365
本富士	1,038	865	659	641	497
駒込	1,565	1,579	1,349	1,562	1,833
計	5,885	5,167	4,806	5,037	5,542

※分室を含む。

イ ケアマネジメント支援・医療連携の取組

(ア) ケアマネジメント従事者研修の開催

高齢者あんしん相談センターが中心となり、ケアマネジャーのスキルアップを目的としている。

(単位：人)

	テーマ	内容	参加者
平成30年度	「ケアマネジャーに必要なアセスメントの視点」 ～その人らしいプラン作成のためにアセスメント力を高めよう！～	服部メディカル研究所 代表取締役 所長 服部 万里子 氏	102
令和元年度	本人の意思決定の支援について (本人に寄り添う介護のために)	ヒューマンネットワーク 三森法律事務所 弁護士 三森 敏明 氏	64
令和2年度	自立支援における意思決定支援とACP	(株)ケアーズ 東久留米訪問看護ステーション 所長 中島 朋子 氏	39
令和3年度	精神疾患(本人・家族を含む)へのチームアプローチとケアマネジャーの役割	順天堂大学付属順天堂東京江東高齢者医療センター メンタルクリニック 古田 晶子 氏	37
令和4年度	介護サービス利用者及び家族の複合的課題 ～課題解決に向けた家族支援と連携のポイント～	独立行政法人日本学術振興会特別研究員 精神保健福祉士、社会福祉士 戸井田 晴美 氏	49

(イ) 各高齢者あんしん相談センターの取組

(単位：人)

	センター	名称	内容	参加者	
1	富坂	富坂ケアマネジメント勉強会	事例検討会「本人及び家族間に意見相違があるケース」	13	
2			事例テーマ「認知症のAさんと姉弟関係がうまくいっていないケース」	6	
3			川端弁護士による講義「消費者被害について」	7	
4			事例テーマ「病識のない認知症の方の今後の意思決定支援」	10	
5			事例テーマ「認知症の方の介護負担により、家族崩壊になりそうなサービスに繋がられないケース」	12	
6			川端弁護士による講義「介護事業者が利用者(家族)から受けるハラスメントに対する権利擁護」	14	
7	大塚	ケアプランを一緒につくろう会	居宅介護支援事業所のケアマネジャーのケアマネジメントの質の向上を目的とした研修	12	
8			第一回大塚圏域主任ケアマネ連絡会	居宅介護支援事業所のケアマネジャーのケアマネジメントの質の向上とケアマネジャー同士の情報交換の場の提供	15
9			第二回大塚圏域主任ケアマネ連絡会	居宅介護支援事業所のケアマネジメントの質の向上とケアマネ同士の情報交換の場の提供	15
10	本富士	本富士地区ケアマネ交流会	本富士地区ケアマネ交流会(事例検討会)とすきっと会の次年度の運営協力の依頼について	16	
計				120	

(ウ) 医療連携相談の状況

【相談数】

(単位：件)

相談者	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
病院	1,031	45.8%	897	41.5%	955	48.2%	784	49.8%	945	52.9%
家族	511	22.7%	464	21.5%	336	17.0%	269	17.1%	267	15.0%
本人	261	11.6%	324	15.0%	245	12.4%	208	13.2%	206	11.5%
診療所	208	9.2%	230	10.6%	249	12.6%	213	13.5%	243	13.6%
その他	143	6.4%	161	7.5%	139	7.0%	68	4.3%	90	5.0%
ケアマネ	97	4.3%	84	3.9%	58	2.9%	33	2.1%	34	1.9%
計	2,251	100.0%	2,160	100.0%	1,982	100.0%	1,575	100.0%	1,785	100.0%

※平成30年度より集計方法が変更。

【支援内容】

(単位：件)

支援内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
退院支援	1,375	61.1%	1,139	52.7%	921	46.5%	660	41.9%	753	42.2%
在宅支援	706	31.4%	838	38.8%	755	38.1%	724	46.0%	773	43.3%
その他	170	7.6%	183	8.5%	306	15.4%	191	12.1%	259	14.5%
計	2,251	100.0%	2,160	100.0%	1,982	100.0%	1,575	100.0%	1,785	100.0%

ウ 介護予防

(ア) 介護予防ケアマネジメントの状況（短期集中予防サービス）（分室を含む。）（単位：件）

	平成30年度					令和元年度				
	富坂	大塚	本富士	駒込	計	富坂	大塚	本富士	駒込	計
事業対象者数	659	461	416	495	2,031	173	118	97	114	502
事業参加勧奨数	306	224	196	312	1,038	184	256	151	312	903
ケアプラン作成数	59	71	60	116	306	34	47	24	70	175
ケアプラン作成比	9.0%	15.4%	14.4%	23.4%	15.0%	19.7%	39.8%	24.7%	61.4%	34.9%

	令和2年度					令和3年度				
	富坂	大塚	本富士	駒込	計	富坂	大塚	本富士	駒込	計
事業対象者数	160	96	129	127	512	687	434	464	508	2,093
事業参加勧奨数	50	68	23	37	178	38	98	41	115	292
ケアプラン作成数	8	21	11	12	52	18	50	21	48	137
ケアプラン作成比	5.0%	21.9%	8.5%	9.4%	10.2%	2.6%	11.5%	4.5%	9.5%	6.5%

	令和4年度				
	富坂	大塚	本富士	駒込	計
事業対象者数	383	229	296	304	1,212
事業参加勧奨数	171	148	83	190	592
ケアプラン作成数	24	60	27	52	163
ケアプラン作成比	6.3%	26.2%	9.1%	17.1%	13.4%

※平成30年度、令和3年度は、全件調査（3年に1回）のため、対象者の把握件数が多い。令和元年度、2年度は、前年未回答者や新たに75歳になった方、令和4年度は奇数年齢の方を対象に把握を行った。

(イ) 予防給付及び総合事業ケアマネジメントの実施状況（短期集中予防サービスを除く。）

【要支援1・2認定者及び事業対象者に対するケアプラン】

(単位：件)

			平成30年度					令和元年度				
			富坂	大塚	本富士	駒込	合計	富坂	大塚	本富士	駒込	合計
相談件数			3,647	3,043	3,817	2,821	13,328	4,339	4,362	3,994	2,664	15,359
総合事業	包括	新規	78	34	44	58	214	78	34	44	58	214
		継続	2,046	1,150	1,329	1,568	6,093	2,046	1,150	1,329	1,568	6,093
	委託	新規	0	8	6	7	21	0	8	6	7	21
		継続	0	126	174	90	390	0	126	174	90	390
予防給付	包括	新規	70	44	50	45	209	70	44	50	45	209
		継続	2,301	1,468	1,421	1,368	6,558	2,301	1,468	1,421	1,368	6,558
	委託	新規	0	10	9	6	25	0	10	9	6	25
		継続	11	142	247	113	513	11	142	247	113	513
新規計			148	96	109	116	469	148	96	109	116	469
継続計			4,347	2,886	3,171	3,139	13,543	4,358	2,886	3,171	3,139	13,554
プラン数計			4,495	2,982	3,280	3,255	14,012	4,506	2,982	3,280	3,255	14,023
構成比			32.1%	21.3%	23.4%	23.2%	100%	32.1%	21.3%	23.4%	23.2%	100%
委託先事業所数 (3月実績)			11 (1)	83 (9)	179 (17)	128 (11)	401 (38)	11 (1)	83 (9)	179 (17)	128 (11)	401 (38)

			令和2年度					令和3年度				
			富坂	大塚	本富士	駒込	合計	富坂	大塚	本富士	駒込	合計
相談件数			4,269	6,301	3,995	2,694	17,259	4,744	5,650	4,315	2,139	16,848
総合事業	包括	新規	51	50	29	61	191	79	47	45	46	217
		継続	1,958	1,129	1,105	1,508	5,700	1,749	1,232	942	1,544	5,467
	委託	新規	0	4	5	8	17	0	10	2	10	22
		継続	0	139	107	125	371	0	158	137	166	461
予防給付	包括	新規	56	50	53	32	191	47	45	41	29	162
		継続	2,663	1,709	1,709	1,555	7,636	2,517	1,814	1,653	1,668	7,652
	委託	新規	0	6	16	5	27	0	8	6	2	16
		継続	12	196	404	159	771	0	2	478	164	644
新規計			107	110	103	106	426	126	110	94	87	417
継続計			4,633	3,173	3,325	3,347	14,478	4,266	3,206	3,210	3,542	14,224
プラン計			4,740	3,283	3,428	3,453	14,904	4,392	3,316	3,304	3,629	14,641
構成比			31.8%	22.0%	23.0%	23.2%	100%	30.0%	22.6%	22.6%	24.8%	100%
委託先事業所数 (3月実績)			12 (1)	113 (11)	232 (23)	148 (14)	505 (49)	2 (0)	128 (12)	264 (20)	157 (11)	551 (43)

			令和4年度				
			富坂	大塚	本富士	駒込	合計
相談件数			5,414	5,870	5,929	2,384	19,597
総合事業	包括	新規	88	43	49	56	217
		継続	1,781	1,018	890	1,383	5,467
	委託	新規	1	3	2	8	22
		継続	2	191	113	165	461
予防給付	包括	新規	68	41	54	41	162
		継続	2,537	1,844	1,670	1,554	7,652
	委託	新規	1	8	4	7	16
		継続	4	287	320	166	644
新規計			158	95	109	112	417
継続計			4,324	3,340	2,993	3,268	13,925
プラン計			4,482	3,435	3,102	3,380	14,399
構成比			31.1%	23.9%	21.5%	23.5%	100%
委託先事業所数 (3月実績)			8 (2)	140 (12)	208 (18)	113 (11)	469 (43)

※プラン作成数は、各センターの例月の請求データにより実施月で集計した。

※ケアプランは、ケアプランに位置付けられた期間中、毎月作成する必要がある。そのため、最初に作成したプランを新規プラン、翌月以降のプランを継続プランとして計上している。

※総合サービス事業開始により、訪問型サービス及び通所型サービスのみのプランは介護予防ケアマネジメント、それ以外は従来どおり予防給付の介護予防支援となる。

※要支援者等のケアプランは、区に登録した居宅介護支援事業所に作成を委託することができる。

エ 地域におけるネットワーク作り（ハートフルネットワーク）

（ア）ハートフルネットワークの拡充

高齢者あんしん相談センターが中心となり、地域において高齢者を見守り、支援するためのネットワークである。令和4年度末の協力機関数は680件となった。

【文京区ハートフルネットワーク協力機関】

団体協力機関	町会、民生委員・児童委員、話し合い員、高齢者クラブ、介護相談協力薬局・薬店
民間協力機関	新聞販売店、配食サービス事業者、生活協同組合、東京電力、東京ガス、郵便事業、郵便局、文京浴場組合、牛乳販売店、商店街、東京都茶協同組合文京支部、東京都電機商業組合文京支部、東京和生菓子商工業協同組合、NPO法人、マッサージ店、金融機関など
公共協力機関	医師会、歯科医師会、東京都柔道整復師会文京支部、警察署、消防署、水道局、社会福祉協議会、シルバー人材センターなど
区関係課	高齢者あんしん相談センター、地域活動センター、高齢福祉課、障害福祉課、生活福祉課、介護保険課、福祉センター、保健所、保健サービスセンター、消費生活センター、清掃事務所など

(イ) 安心ネット連絡会の開催

ハートフルネットワークが地域で効果的に機能するよう、協力機関の代表等を集めて、高齢者あんしん相談センターの主催により、民生委員・児童委員、話し合い員、町会連合会、高齢者クラブ、介護相談協力薬局・薬店、警察署、消防署、高齢者あんしん相談センター、社会福祉協議会及び区（高齢福祉課、地域活動センター）で構成される安心ネット連絡会を開催している。

6月の民生委員・児童委員との会合を含め、高齢者あんしん相談センターごとに、年に2回開催している。

令和4年度 安心ネット連絡会開催状況

安心ネット連絡会は、民生委員、話し合い員、高齢者クラブ、介護保険相談協力薬局・薬店、町会、警察署、消防署、社会福祉協議会、地域活動センター、高齢福祉課、議題に応じて高齢者あんしん相談センターが招集したハートフルネットワーク関係機関等により構成されている。

【令和4年度 安心ネット連絡会】

(単位：人)

センター	検討内容	出席者
富坂	(1) 地域の見守り活動紹介 ①富坂警察署 ②小石川消防署 ③富坂生活あんしん拠点 ④文京区社会福祉協議会 ⑤見守り相談窓口 (2) 事例検討・意見交換	38
大塚	「事例を通して、地域でのゆるやかな見守りについて考える」	27
本富士	(1) 「高齢者のスマートフォンの普及と可能性と課題」 (2) 事例紹介・発表	32
駒込	(1) 日ごろの見守り活動等の報告と意見交換	23

【令和4年度 民生委員との連絡会】

(単位：人)

センター	検討内容	出席者
富坂	(1) 令和3年度 富坂地区民生委員活動の報告 (2) 高齢者あんしん相談センターの活動報告と事業計画 (3) 民生委員と高齢者あんしん相談センターで対応した事例の発表	57
大塚	(1) 職員紹介 (2) 新就任民生委員紹介 (3) 『見守り事業の事例検討』 (4) 情報共有、実際の困り事、連携のポイント等について	45
本富士	1. 地域ケア会議について (1) 地域ケア会議とは・参加する際のお願い (2) 質疑応答・意見交換 2. 連携事例の紹介 (1) 相談頂き支援がうまくいった事例 (2) 相談頂いたが、支援に繋がらない事例 3. 令和4年度熱中症予防啓発について	45
駒込	情報交換会	46

(ウ) 講座開催・出張講座等の実施状況

高齢者あんしん相談センターは、センターの周知や、介護保険を始め様々な高齢者サービスの紹介、高齢者を支えるネットワークづくりのために、講座開催や出張講座、地域における会合等に積極的に取り組んでいる。

(単位：人)

	センター	講座開催・出張講座 (回数)	参加者
1	富坂	ハートフルネットワーク交流会 (1回)	23
2		高齢者疑似体験 (1回)	59
3	大塚	ハートフルネットワーク連絡会 (1回)	13
4		高齢者あんしん相談センターの活動についての周知 (1回)	200
5		東洋大学白山キャンパス～多世代交流のあり方～ (1回)	15
6	本富士	健康フェスティバル (1回)	20
7	富坂・大塚 本富士・駒込	認PAKU～認知症に寄り添う機器展～ (1回)	393
8	富坂・大塚 本富士・駒込	介護予防展 (1回)	400

(エ) 連絡会等への出席

a 連絡会議等への出席

	センター	出席先 (回数)
1	富坂	シエルブルー運営会議 (12回)
2		シエルブルー勉強会 (1回)
3		シエルブルーカフェ (7回)
4		権利擁護支援連携協議会実務者会議 (2回)
5		ひきこもり支援実務者会議 (2回)
6		権利擁護ネットワーク連絡会 (1回)
7		地域生活支援専門部会 (1回)
8	大塚	シエルブルー運営会議 (5回)
9		シエルブルーカフェ (2回)
10		シエルブルー連絡会 (3回)
11		ちいきみまもり連絡会 (8回)
12		権利擁護支援連携協議会実務者会議 (1回)
13		ひきこもり支援関係機関連携強化検討会 (1回)
14		高齢者相談係・社会福祉協議会との連絡会 (12回)
15		シエルブルー勉強会 (1回)
16		ひきこもり支援従事者研修 (1回)
17	本富士	シエルブルーMTG (3回)
18		シエルブルー運営ミーティング (6回)
19		シエルブルーカフェ (4回)
20		認知症になってもつながり続けられる地域づくり検討会 (4回)
21		シエルブルー勉強会 (2回)
22		権利擁護支援連携協議会実務者会議 (6回)
23		文京ユアストーリー審査会 (5回)
24		文京区自殺対策推進会議 (1回)
25	駒込	ひきこもり検討会 (1回)
26		バリアフリー基本構想推進協議会 (1回)
27		在宅療養推進委員会 (1回)
28		8050問題検討部会 (1回)

b 地域密着型サービス 運営推進会議への出席

(単位：回)

	センター	参加回数
1	富坂	5
2	大塚	5
3	本富士	1
4	駒込	4
	計	15

オ 地域ケア会議の開催

地域ケア個別会議では、何らかの課題を抱えた個別ケースについて、本人への支援に関わる総体的な内容について検討し、地域ケア連絡会議では、地域ケア個別会議の積み重ねから地域課題を抽出し、圏域単位の地域づくり・資源開発による地域課題の解決に向けた検討をした。

出席者は、会議内容に合わせて、弁護士、大学教授、保健医療関係者、銀行、民生委員、話し合い員、住民組織、介護支援専門員、介護サービス事業者、地域福祉コーディネーター、高齢者あんしん相談センター職員、行政職員等である。

【令和4年度地域ケア会議開催状況】

センター	名称	内容
富坂	地域ケア個別会議（4回）	事例確認会で抽出した地域課題について、解決に向けた検討を行った。
	地域ケア連絡会議（2回）	個別ケア会議で議論した内容から抽出した地域課題について検討を行った。
大塚	地域ケア個別会議（4回）	個別事例の課題に対して、意見交換等を行った。
	地域ケア連絡会議（2回）	地域の見守り力の拡充や地域住民との情報共有などの地域課題について意見交換を行った。
本富士	地域ケア個別会議（4回）	提出された個別ケースについて話し合い、地域の課題について検討を行った。
	地域ケア連絡会議（2回）	地域課題整理と地域ネットワークづくりや資源開発に向けての意見交換を行った。
駒込	地域ケア個別会議（5回）	在宅復帰が難しい家族を持つ高齢者等の個別事例を話し合い、支援についての検討を行った。

カ 認知症に対する取組

(ア) 相談・支援件数

(単位：件)

	センター	内容	延べ件数
1	全センター	認知症相談	4,513
2		認知症コーディネーター対応相談	808
3		認知症コーディネーター訪問支援	125
4		もの忘れ医療相談（訪問相談対応）	21 (2)

(イ) 認知症に関する講演会・出前講座

(単位：人)

	センター	テーマ	内容	参加者
1	富坂	認知症はこわくない～前向きに生きるために必要なこと～	認知症と共に生きることをテーマにした講演と脳を活性化する運動（シナプソロジー） 【講師】 栗田主一（東京都健康長寿医療センター研究所副所長）	44
2	富坂	薬よもやま話～認知症をサポートするために～	認知症を正しく理解しサポートするために必要なことを地域の薬剤師が伝える。 【講師】 川田真二郎（文京区薬剤師会副会長） 木曾正子（文京区薬剤師会委員）	28
3	大塚	シナプソロジーを体験してみよう	認知症予防のため、脳の活性化と心身の能力維持向上をめざすシナプソロジーを体験し、楽しみながら認知症を予防する方法を学ぶ。 【講師】 谷賢造（ルネサンス）	31
4	大塚	私が、大切な人が、認知症になったら	認知症になって在宅・施設どちらの生活も選択できるようデイサービス・小規模多機能・グループホームの特徴や事例を紹介 【講師】 三浦（なごやか千石）・神林（いきいき小日向）・幸田（GH文京小日向）・平田（文京あやめ）	31
5	本富士	医師が伝えたい「つながること」の大切さ（家族交流会と同時開催）	日本における認知症の現状、認知症になっても安心して暮らしていくためになど 【講師】 小松裕子（根津診療所認知症サポート医）	7
6	本富士	認知症の方の金銭管理（家族交流会と同時開催）	認知症の方の金銭管理に活用できる制度やサービスの紹介 【講師】 社会福祉協議会あんしんサポート職員	8
7	駒込	もしもに備える成年後見制度～成年後見制度と契約のできる～	認知症について・法定後見制度とその現状・任意後見制度などおひとり様が利用できる制度 【講師】 高橋哲（高橋哲司法書士事務所）	17
8	駒込	もしもに備える介護保険～基礎知識を学ぼう！～	認知症になっても住み慣れた地域で生活し続けられるよう、認知症について、介護保険のしくみ、利用方法など 【講師】 新堀季之（高齢者あんしん相談センター駒込センター長）	26
参加者計				192

(ウ) ぶんにこ（文京認知症コミュニティ：文京区版認知症カフェ）の開催

認知症のご本人、ご家族、地域の方等、誰もが集い話せる場である。

(単位：人)

	センター	開催回数	参加者
1	富坂	9	45
2	大塚	6	85
3	本富士	4	48
4	駒込	3	77
参加者計			255

(エ) 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を地域で温かく見守る応援者である。講師は、認知症について専門的研修を受講したキャラバンメイトが務めている。

(単位：人)

	センター	開催回数	参加者
1	富坂	7	176
2	大塚	8	183
3	本富士	7	123
4	駒込	7	162
参加者計			644

(オ) 認知症家族交流会・介護者教室等の開催

a 認知症家族交流会

(単位：人)

	センター	テーマ	参加者
1	富坂	我が家の介護と情報交換	5
2		特別養護老人ホームの概要等	6
3	大塚	落語で脳トレ スマホで交流	31
4		スマホで多世代交流	13
5	本富士	医師が伝えたい「つながること」の大切さ（認知症講演会と同時開催）	7
6		認知症の方の金銭管理（認知症講演会と同時開催）	8
7	駒込	認知症の方を介護している家族同士で交流	0
8		認知症の方を介護している家族同士で交流	0
参加者計			70

b 介護者教室

(単位：人)

	センター	テーマ	参加者
1	富坂	あなたは最期どこにいたいですか？Part1	37
2		あなたは最期どこにいたいですか？Part2	12
3	大塚	おうちでながら体操	14
4		家族で備えよう 防災教室とおむつ講座	20
5	本富士	成年後見制度ってなあに？	7
6		聞いて納得！高齢者施設の基礎知識	9
7	駒込	古い支度講座 エンディングノートを活用しよう	21
8		古い支度講座 もしもに備える最期の迎え方～人生会議から遺言まで	18
参加者計			138

キ 熱中症予防の取組

(ア) 熱中症対策事業集計

(単位：件)

事業内容	富坂	大塚	本富士	駒込	計
電話による啓発	0	0	0	110	110
戸別訪問（訪問時不在によるポスティングを含む）	187	42	391	204	824
計	187	42	391	314	934

(イ) 出張講座等（熱中症予防講座等）（単位：人）

	センター	開催回数	参加者
1	富坂	5回	64
2	大塚	15回	164
3	本富士	0回	0
4	駒込	0回	0
計			228

(2) 認知症施策総合推進事業（認知症地域支援推進員及び嘱託医の配置）

認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続していくため、区に認知症地域支援推進員2人を配置するとともに、地域の認知症サポート医（都の認知症サポート医養成研修を受講した医師）を区の嘱託医として4人（日常生活圏域ごとに1人）配置している。

認知症地域支援推進員及び嘱託医は、高齢者あんしん相談センターの認知症支援コーディネーターと連携しながら、地域の認知症支援体制の構築に必要な事業の総合的な推進に取り組んでいる。

令和4年度の取組の主な成果については、(1)の④の力のとおりである。

(3) 生活支援体制整備事業

地域の多様な主体によるさまざまな生活支援サービス（助け合い活動等）の体制整備を進めるために、社会福祉協議会に生活支援コーディネーター（地域福祉コーディネーター・相談支援包括化推進員と兼務）を配置している。

生活支援コーディネーターは、担当する地域の関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、高齢者の生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート業務に取り組んでいる。

令和4年度の取組の主な成果については、1（2）の③のイのとおりである。

3 任意事業

(1) 事業者運営指導等

保険者としての運営指導は、利用者の自立支援及び尊厳の保持を念頭におき、介護サービス事業者を支援することを基本として、介護給付等対象サービスの質を確保するとともに、法令を遵守し、適正な制度運営を目的とし、実施している。

運営指導は、平成16年度から行っており、地域密着型サービス及び施設サービスの事業者には、特に利用者への処遇面や衛生管理、非常災害対策に重点を置いた指導を行い、また、居宅サービス事業者等に対しては、法令遵守、適正化の観点を含むサービス等の質の向上を図るよう指導を行っている。そのほか、介護保険事業者が遵守すべき法令のポイントを集団指導で周知するとともに、ケアプラン点検事業を実施し、ケアマネジャーがより質の高いケアプランの作成ができるように事業者ごとに個別指導を行っている。

①運営指導実施状況

(単位：事業所)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービスの種類	居宅介護支援	4	7	3	4	4
	通所サービス	2	5	1	—	0
	訪問サービス	11	6	2	3	2
	短期入所サービス	3	1	—	1	3
	地域密着型サービス	8	8	4	5	3
	施設サービス	2	2	—	—	1
	その他（福祉用具貸与等）	1	1	—	—	1
	総合サービス事業	—	—	—	—	2
合計		31	30	10	13	16

※令和4年度より、実地指導から運営指導へ事業名を変更。サービスの種類には、介護予防サービスを含む。

②ケアプラン点検事業の実施状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施事業所数	12事業所	11事業所	—	2事業所	10事業所
参加人数	69人	53人	—	8人	29人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度中止及び令和3年度一部中止。

③夜間人員体制の確認調査の実施状況

介護保険施設と地域密着型サービス事業所を対象に、夜間の人員体制の確認のため、夜間時間帯に立入調査を実施している。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護保険施設等（実施施設数）	11	—	—	—
地域密着型サービス（実施事業所数）	15	—	—	—

（2）給付費通知

適正なサービス提供及び保険給付費の請求が行われているかを利用者自らが確認するため、サービス利用者全員に対して年2回給付費通知書を発行する。

【給付費通知書発行状況】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
第1回	7,002件	7,104件	7,144件	7,244件	7,382件
第2回	7,227件	7,318件	7,279件	7,402件	7,509件
合計	14,229件	14,422件	14,423件	14,646件	14,891件

（3）認知症介護教室

①認知症家族交流会

認知症の方を介護する家族等の交流や情報交換を目的とした交流会を実施している。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	8回	7回	5回	8回	8回
参加者	58人	98人	49人	68人	70人

②介護者教室

介護についての正しい知識や介護方法を学ぶための介護教室を実施している。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	8回	8回	3回	8回	8回
参加者	186人	203人	32人	113人	138人

(4) 行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業

認知症の症状による行方不明への備えや行方不明となった場合の早期発見及び早期保護を図るため、以下の事業を実施している。

①ただいま！支援登録

申請に基づき認知症の症状により行方不明になるおそれのある方の情報を登録し、区、区内警察署及び高齢者あんしん相談センターで情報を共有することで、保護された際の迅速な身元判明につなげる。

(各年度末現在)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	73人	89人	119人	136人	149人

②ただいま！支援SOSメール

ただいま！支援登録の登録者などが行方不明となった際に、予め登録した地域の協力者に一斉にメールを配信し、捜索に協力いただくことで、行方不明者の早期発見・早期保護につなげる。

(各年度末現在)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
協力者数	640人	699人	745人	808人	852人

③おでかけ見守りシールの配付

認知症の症状による行方不明が心配で、「ただいま！支援登録」を申請済みの方を対象に、おでかけ見守りシールを配付している。衣服等に貼った二次元コードを発見者が読み取ると、ご家族等へ通知メールが届くとともに、発見者と家族が伝言板を通じて簡単なやりとりを行うことができる。

	令和3年度	令和4年度
配布者数	15人	2人

④靴用ステッカーやアイロンシールの配付

認知症の症状により行方不明になることが心配な方に、保護された際の身元判明に役立つ靴用ステッカーや衣服用アイロンシールを配付する。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
靴用ステッカー	36人	38人	48人	37人	21人
アイロンシール	34人	31人	47人	38人	22人

⑤「うちに帰ろう」模擬訓練

認知症の方に対する地域の対応力向上、見守り機能強化のため、認知症の症状による行方不明事案が発生したことを想定した声かけ対応等の模擬訓練を実施する。

令和4年度は、三組町会、三組弥生会、湯島新花町会協力のもと、文京福祉センター湯島で開催した。

⑥高齢者GPS探索サービス事業

介護保険認定が要支援又は要介護で、認知症の症状により行方不明になる可能性のある方を対象に、GPSの専用端末を利用した探索サービスの申込に係る初期費用を助成する。令和2年度から協定事業者が増え、2種類のGPS端末から選択して申請する。

助成実績については、以下のとおりである。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
持ち運び型	1件	0件	2件	2件	6件
靴収納型	—	—	4件	4件	1件

(5) 成年後見制度利用支援事業

判断能力が不十分な認知症高齢者で身寄りがないなどの理由で成年後見制度の申立てが期待できない場合、区長が審判の申立てを行う。また、後見人等の審判の申立てを行った者に対し、申請に基づき後見人等報酬費用を助成する。

区長申立 件数	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	28件	20件	30件	26件	32件

(介護保険制度の地域支援事業としての実施分)

後見人等 報酬	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	5件	10件	8件	14件	17件

(介護保険制度の地域支援事業としての実施分)

(6) 住宅改修支援事業

ケアマネジャーがついていない利用者が住宅改修申請を行う際に、申請に必要な理由書を作成した福祉住環境コーディネーター2級等の有資格者が所属する事業者に対して、理由書作成費の補助を行う。

【補助状況】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助件数	47件	32件	45件	39件	36件